

# やまた 広報

No  
902

今号の主な内容

轟木小児童と白石老朽が合同劇  
地域ぐるみで子育て支えよう  
10月から緊急地震速報開始  
シリーズ：変わる医療制度②  
町民登場  
みんなのスペース  
町のわだい  
やまたの歴史人物誌50

2~5  
6~7  
8~9  
10  
11  
12~13  
14~15  
17

## 火花散る 一瞬の攻防

【第36回町民体育祭の新騎馬戦・記事14巻】

11月1日号 2007



①轟木小学校校舎前にある「思いやりの丘」に設置された石。この石の由来を探ることから物語は始まる／②子供たちとの合同練習の様子／③老人クラブの方からスコップの使い方の指導を受ける児童／④監督を務めた阿部教諭も演技指導に思わず熱がこもります



# 轟木小児童と白石老クが合同劇



## 演劇通じ地域の歴史を学ぶ



### 地域の歴史を伝える機会に

白石老人クラブ会長  
中村 丈夫さん  
(織笠・72歳)

毎年開催されている「とどろき祭り」で、子供たちだけでなく、大人も一緒に何かできないかと考え、白石分教場ができて100年目、轟木小学校が創立25年目の節目を迎えることからこの劇をやろうと思いました。当時からは世代も変わり、学校建設にどのような苦労があったか知らない方も増えてきています。子供たちに十分な教育を受けさせるため、地域が一丸となって学校造りに汗を流した歴史を、子供たちや地域の皆さんに知ってもらおう機会になればと考えています。できれば来年も続けたいですね。



### 地域と学校が身近な存在に

轟木小学校校長  
平野 守雄さん  
(八幡町・52歳)

きっかけは昨年10月ごろに、シルバーカレッジの方々が山田南小で演劇を披露したという新聞記事を見たことでした。そこで白石老人クラブの中村会長と話し合い、児童と合同での演劇を行うことを計画しました。いつも見慣れている学校の前庭にある大きな石。この石の由来を調べていくうちに、本校の歴史の裏側には地区の皆さんの大変な努力があったことを知り、題材に取り入れることにしました。この劇を通じて学校の歴史を知っていただき、地域と学校がもっと身近になっていけたらと思います。

轟木小学校では、5・6年生児童が白石老人クラブと合同で演劇を行いました。これは、毎年同校で行われている学習発表会「とどろき祭り」の中で披露されたもので、同校では初の試みとなります。

**薄れゆく建設当時の思い**

轟木小学校は昭和58年に織笠小学校轟木分校から独立してできた、町内では比較的新しい学校です。しかし、昭和28年に轟木小の前身である轟木分校ができるまでの道のりは決して平坦なものではなく、地区の皆さんは学校の建設に、さまざまな苦労を重ねてきました。

しかし、轟木分校建設からは半世紀が経過。保護者の世代も変わり、当時の苦労や地域の情熱を知る人は数少なくなってきました。学校の歴史を知る人々、当時創立にかかわった人たちからは「自分たちの志を受

け継いでほしい」という願いとともに、学校が主体となった地域づくりをしてほしいという声が寄せられていました。

**「学校の歴史」を題材に**

そこで平野校長は、本年度のまなびフェスト（学校が作る学習目標）に白石老人クラブとの合同劇の開催を計画。学校の歴史を題材にし、中村会長や歴代PTA役員の方々から聞いた話を基に「とどろきの99年史」の脚本を書き上げました。

劇の練習は10日間にわたって行われ、そのうち半分は老人クラブとの合同で実施。はじめは自信なさげに演技していた子供たちも、監督の阿部光浩教諭や中村会長から指導を受けながら、日を追うごとに上達していきました。子供たちもセリフを忘れた老人クラブの方に教えてあげると、お互いに支え合いながら、けいこに励みました。

轟木小学校（平野守雄校長・児童56人）では、10月21日に開催された学習発表会「とどろき祭り」で高学年児童が白石老人クラブ（中村丈夫会長・会員17人）と合同で演劇を行いました。轟木地区に学校を建設するため、地域の人たちが積み重ねてきた苦労と情熱。子供たちは劇を通じてその歴史を学びました。

# 学校造りが地域の歴史だった



①地区民が力を合わせ、学校用地の整地に取り組んだ様子／②轟木小創立10周年の事業として地区民の協力の下「思いやりの丘」に石が運び込まれました／③明治41年の白石分教場の様子を再現。兄弟の子守りしながら授業を受ける子供もいました／④老人クラブや児童らの熱演振りに、観客の皆さんには笑みがこぼれていました／⑤劇終了後のカーテンコールでは、会場から惜しめない拍手が送られていました

10月21日、学習発表会「とどろき祭り」当日。会場には保護者や教育関係者、地域の皆さん150人が来場しました。最初に全校発表の部として、鶏舞や合唱などが披露。続いて学年発表の部では各学年による劇が行われ、「とどろきの99年史」は4番目の上演となりました。

物語は学校建設のため、力を尽くした轟木地区の人たちの苦勞を綴ったもの。5年生・6年生18人と白石老人クラブ10人が出演し、明治、昭和、平成の各年代における学校の様子を表現しました。

## 「学びの場」の提供がみんなの願いだった

「思いやりの丘」と呼ばれる学校の前庭にある平らな石。ある子供がこの石に疑問を持つ場面から、物語は始まりました。

そこから時代はさかのぼること99年前の明治41年。小学校の義務教育が6年制になり、この地区に初めてできた小学校。名前は織笠尋常高等小学校白石分教場といいました。当時は1年

## 「地域の学校」のため一丸となった地区民

暗礁に乗り上げかけた学校建設に立ち上がったのは、田子の木、馬指野、礼堂の青年団。すべては地区民の願い「地域の学校」を造るためでした。地域住民も青年団に協力してみんな

整地を行い、そこに織笠小学校轟木分校が建設されました。地域が一丸となって取り組んだ学校建設事業は実を結び、地区民の悲願は達成されました。

## 「思いやりの丘」に込められた優しさ

その後昭和58年に轟木小学校として独立、創立10周年を迎えた平成4年に記念事業として地域の方々が校庭を整備しました。校庭に子供たちに憩いの場所を造ってあげよう……。そんな思いから「思いやりの丘」が造られることになりました。作業はすべてボランティアで行われ、

トラック180台分の土、そして山から大きな石15個が運び込まれました。平らな石の上でお弁当を広げたり、本を読んだりしてほしいという、地域の人たちの「思いやり」が詰まった丘がこうしてできたのです。

地域住民の力を結集して造られた轟木小学校。その歴史から同校は「地域コミュニティ」の拠点として、地域住民から深い愛着を持たれています。「地域の学校」を造るため力を尽くした先人たちの思い。今も色あせることなく、しっかりと現代に受け継がれていました。

## 劇を一緒にやっていたいろいろ学んだ



**松原 佑樹君**  
(轟木小6年)

緊張せずにセリフを言えて良かったです。劇で難しかったのは、セリフがないところでの演技です。老人クラブの皆さんと一緒に劇をやって、いろいろなことを教わりました。

## 昔の人たちの頑張りに驚きました



**糠森 和さん**  
(轟木小6年)

楽しみながら劇ができました。老人クラブの方に、セリフを忘れたとき教えてあげました。昔の人たちは、学校を作るために自分たちで頑張ったのがすごいなと思いました。

## 子供たちとの交流で若返った気分



**中村 眞一さん**  
(織笠・75歳)

わたしは、5年生の孫と一緒に劇に出演しました。なかなかセリフが覚えられなくて苦勞しましたが、子供たちと交流することで、気持ちの若返りにもなっていますね。

## これからも続けてほしいですね



**佐々木フサコさん**  
(織笠・70歳)

素晴らしい劇に感動しました。こうして子供たちと老人クラブの皆さんが交流を持っていくのはとても良いことだと思います。これからもぜひ続けてほしいですね。

# 11月は児童虐待防止推進月間

# 地域ぐるみで子育て支えよう

近年、児童虐待に関する相談件数が急増しており、また、全国的には虐待により子供の生命が奪われる痛ましい事件も発生しています。ここでは、県内における児童虐待に関する相談の状況と、町の支援体制などについてご紹介します。

## 18年度には310件の相談

児童虐待の相談件数は、県内でも平成9年度から増え続け、18年度には310件も寄せられています。18年度の相談状況を見てみると、年齢区分では3歳から小学生までが最も多く、213件と全体の6割以上を占めています（7ページグラフ）。

虐待の種類には直接的に危害を加える身体的虐待、育児に必要な行為を行わないネグレクト（育児放棄、心が傷つく行為など）を行う心理的虐待、性的行為などを強要する性的虐待があります。県内の相談件数としてはネグレ

クトと身体的虐待がほぼ同数で多く、続いて心理的虐待の順となっており、性的虐待の相談も少数ですが寄せられています。虐待が起きる要因としては、核家族化が進み、地域との関係が希薄化したことで悩みを相談できる人が減ったことによる育児ストレスや家庭の問題などが挙げられます。また、行過ぎた「しつけ」による虐待や親の身勝手な行動により虐待となるケースもあります。

**周囲の温かい支えが大切**

虐待を受けた子供は心身ともに深い傷を負い、立ち直るため

には長い時間がかかります。児童虐待を防ぐため、必要とされているものは何でしょうか。虐待に陥る要因として挙げられるのは社会からの孤立。誰にも相談できず悩みを抱える親子には、周囲の温かいサポートが必要不可欠です。家族はもちろんのこと、地域の皆さんも悩んでいる親子を優しく支えてあげることが育児ストレスを軽減し、虐待の防止につながります。

子供は家族にとつてかけがえない存在なのはもちろんですが、地域にとつても明日の山田を担う大切な宝。子供の健やかな成長のため、かつての日本社会に存在した「地域ぐるみでの子育て」が必要とされています。

## 子育て相談窓口の利用を

町では、子育て相談窓口を開設しています。育児に不安や悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

▽相談内容 18歳未満の子供に関する養育、障害、非行などの問題全般

▽相談方法 電話または面接相談（匿名での相談もでき、相談内容の秘密は固く守られます）

▽相談時間 午前8時半～午後5時半まで（土・日曜日、祝日を除く）

◆相談先・問い合わせ 役場保健福祉課児童福祉担当（☎82-3111内線131）へ。

## 「虐待では？」と感じたら…

あなたの近所で▶夜中に子供が外で泣いている▶子供の顔や体に不審な傷跡がある—ということはありませんか。周辺で虐待の可能性を感じたら、早期発見のためにも至急情報をお寄せください。

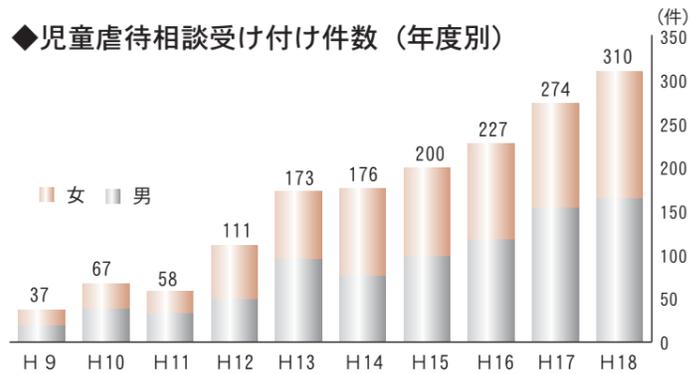
通告を受け調査した結果、虐待でなかったとしても、通告した方の責任は問われません。また、通告した方の氏名などの秘密は堅く守られます。

◆通告先 役場保健福祉課児童福祉担当（☎82-3111内線131）

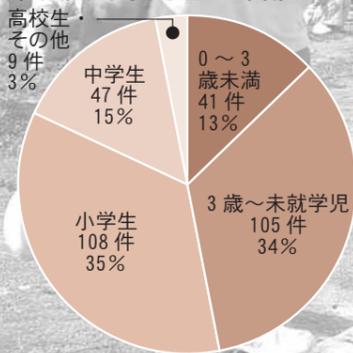
※緊急時には、夜間や閉庁日にも受け付けます。

# 県内での児童虐待相談状況

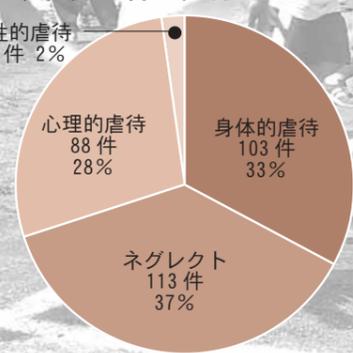
◆児童虐待相談受け付け件数（年度別）



◆相談対象児童の年齢



◆虐待内容の区分



◆主な虐待の種類

身体的虐待	殴る、蹴る、投げ飛ばす、戸外に締め出す、タバコの火を押し付けるなど
ネグレクト	食事を与えないなど身の回りの世話をしない、家に置き去りにするなど
心理的虐待	言葉による脅し、極端な無視、兄弟間で差別、子供の前での夫婦喧嘩など
性的虐待	子供に性的行為の強要、ポルノグラフィの被写体にするなど

※グラフは平成18年度のデータ

## 児童虐待防止講演会を開催 相談窓口の周知訴える

10月3日、町では関係者を対象とした児童虐待防止講演会を開催しました。会場となった町中央公民館には保育・教育関係者や民生児童委員など80人が出席。「虐待の問題を通して、虐待の早期発見と予防的支援について」と題し、県立療育センター主任相談支援員の長谷川嘉代子さんによる講演が行われました。

講演では、子供たちが虐待により受ける影響や

県内の相談状況、情緒障害児短期治療施設ことりさわ学園での勤務経験から虐待の事例を紹介。「子供に過剰な期待を求めるあまり、虐待に発展するケースが多い。子供の発達度合いを親が理解することが大切」と説きました。

その一方で「地域の方々は、家庭が地域から孤立した環境では虐待が起こりやすいという認識が必要です。また、関係機関も親からのSOSのサインを見逃さないことが大事です」と周囲の見守りも重要であることを呼び掛けました。

最後に長谷川さんは「子育てで問題が発生したとき、親が自分たちだけで解決しようとするのは困難である。育児相談について利用してもらえよう、相談窓口のPRを十分にしなければならぬ」と支援体制周知の必要性を訴えていました。

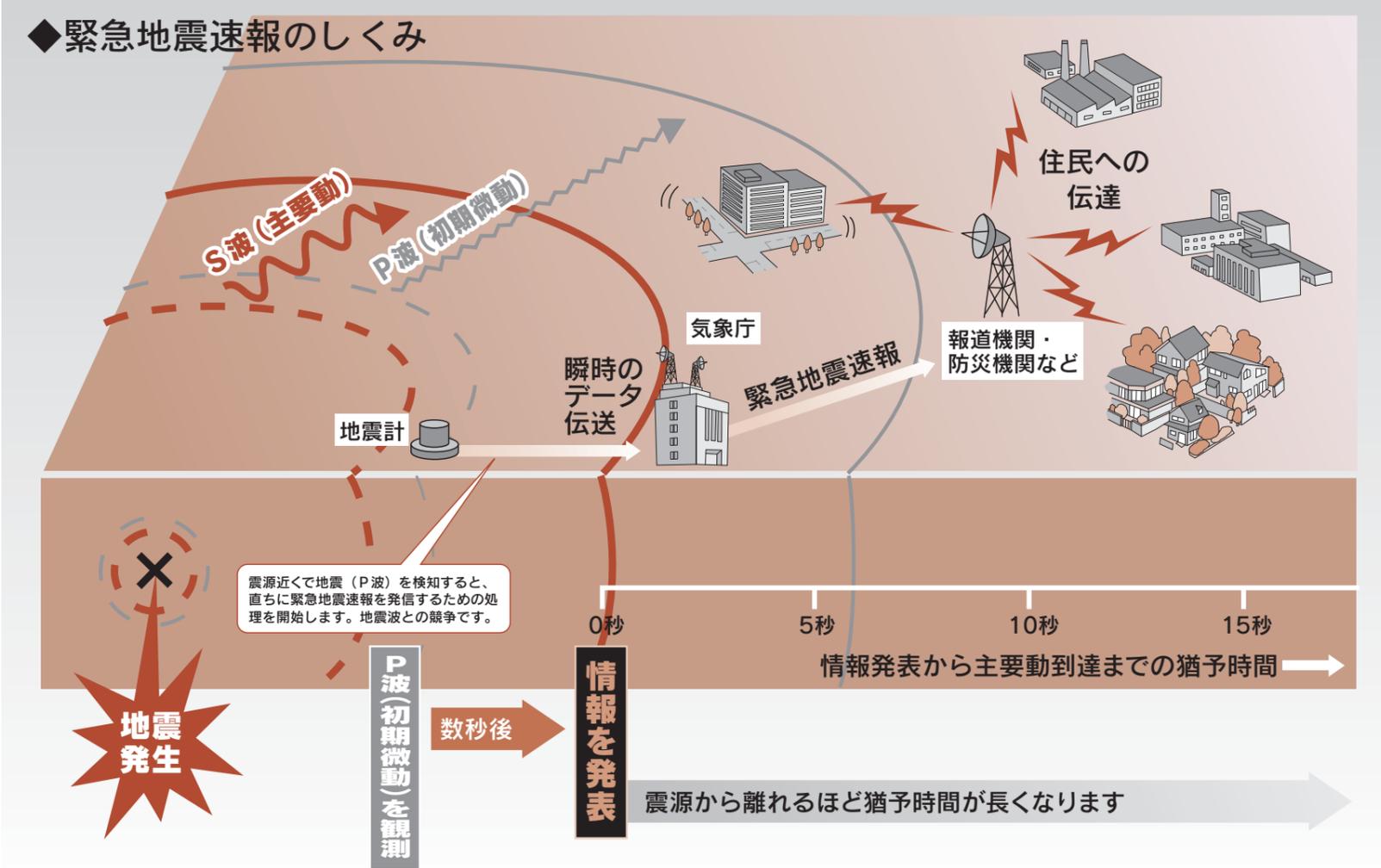


県立療育センター  
主任相談支援員  
長谷川 嘉代子 さん

# 10月から緊急地震速報開始

## 初期の揺れ感知し情報提供

気象庁では、10月1日から「緊急地震速報」を開始しました。同速報は、地震による強い揺れを事前に知らせることを目指す情報システムです。強い揺れが到達するまでのわずかな間に身を守り、地震被害を最小限に食い止めましょう。



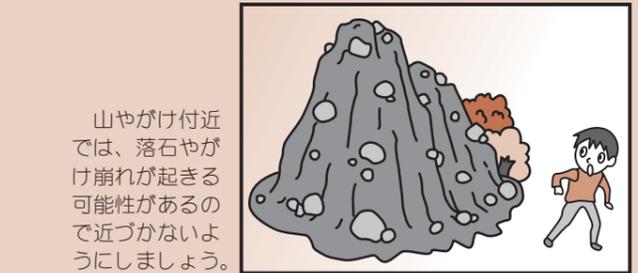
### 速報が出たら...



◆家庭や学校、職場では

家庭で緊急地震速報が出たら、頭を守って大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れましょう。慌てて家の外に飛び出すのは危険です。また、火の始末は自分が近くにいる場合だけとし、無理して遠くの火元へ行かないようにしてください。できれば扉を開けて避難する準備をしておきましょう。

※この対応は学校や職場などほかの場所でも応用できます。何をしたらよいか考えておくといでしょう。



◆屋外では

屋外で情報を聞いた場合は、ブロック塀や自動販売機などが倒れることがあるので、離れるようにしましょう。また、ビルのそばは壁や看板、ガラスが落ちてくる危険があるので危険です。ビルから離れるか、丈夫なビルの場合はビル内に避難しましょう。

山やがけ付近では、落石やがけ崩れが起きる可能性があるため近づかないようにしましょう。

◆自動車を運転中の場合は

緊急地震速報

後続車が速報を聞いていないこともあるので、急ブレーキは避けてハザードランプを点灯し、ゆっくりスピードを落としましょう。強い揺れを感じたら、道路状況を見ながら道路左側の安全な場所に停車してください。

緊急地震速報は、地震が発生したときに生じる初期微動を感知し、強い揺れが到達する前に皆さんにお知らせすることを指す情報システムです。

地震が起きると、弱い揺れのP波(初期微動)と強い揺れのS波(主要動)が発生。P波はS波より伝わるのが速いことから、震源地近くでP波が観測されると瞬時に気象庁へデータが送られ、報道機関を通じて速報を発表。強い揺れが来るまでの時間(猶予時間)を知らせます。

震源地から離れるほど猶予時間は長くなりますが、震源地付近ではP波とS波の到達時間に差が出ないことから、強い揺れが起きるまでに速報が間に合わないことがあります。

**報道機関を通じてお知らせ**

速報は、最大震度5弱以上と推定される地震の際に、テレビ

やラジオなど報道機関から震度4以上の強い揺れが起きる地域をお知らせします。このほか、インターネットや専用回線などを利用した速報専用受信端末で受けることもできます。

なお、速報が発表されたときにテレビやラジオなどの電源が入っていないと聞くことはできません。また、速報には技術的な限界があり、震源やマグニチュード、震度などの精度が十分でない場合があります。

**わずかな時間でできること**

緊急地震速報から強い揺れが到達するまでの猶予時間は、数秒から長くても数十秒程度。このわずかな時間の間に何らかの対策を取ることができ、地震被害を軽減することができます。身を守ることを最優先にし、被害を最小限に食い止めましょう。

行動例としては、建物内では

机の下に隠れるなど頭の保護

屋外では崩れそうな危険な場所(ブロック塀やビルのそば、がけなど)から離れるなどが考えられます。

**普段からの備えが大切です**

今後30年以内に99%の確立で発生するといわれている宮城県沖の地震ですが、地震の具体的な発生時期を特定したり、地震の発生自体を止めることはできません。いつ起きるか分からない地震に對したたちができないことは、いざというときに対処できるように、普段からの備えを十分しておくことではないでしょうか。

緊急避難袋や懐中電灯、携帯ラジオなど物品の備えはもちろん、速報が出たとき何をすべきかという心の備えも大切です。今一度ご家族で緊急時の対処法について話し合ってみてはいかがでしょうか。

◆問い合わせ 役場総務課防災対策主幹 (☎82131111内線460) へどうぞ。

## メタボリックシンドロームとは？

メタボリックシンドローム（内臓脂肪型症候群）とは▶内臓脂肪（胃や腸など内臓の周りにつく脂肪）の過剰な蓄積▶高血圧▶高血糖▶脂質異常——など動脈硬化の危険因子を合わせ持った状態をいいます。

### ◆メタボリックシンドロームの診断基準

腹囲（おへそ周り）が男性85㍍以上、女性90㍍以上で次の項目のうち2つ以上該当する人。

- 血糖値（空腹時） 110mg/dl以上
- 脂質 中性脂肪 150mg/dl以上またはHDLコレステロール 40mg/dl未満
- 血圧 収縮期 130mmHg以上または拡張期 85mmHg以上

※特定保健指導の対象者を選定する場合は、上記3項目にBMIや喫煙・服薬歴が加えられ、血糖基準値が空腹時100mg/dlまたはヘモグロビンA1c 5.2%以上となります。

## 特定健診・特定保健指導

# 病気の「発見」から「予防」へ

来年4月から各保険者に「特定健診・特定保健指導」の実施が義務付けられます。40歳〜74歳の方が対象となるこの制度は、生活習慣病の発症とかわりの深い「メタボリックシンドローム」に着目。健診で生活習慣の改善が必要と診断された方に対し保健指導を行います。

近年、総医療費の上位を占める生活習慣病。少子高齢化社会を迎え、医療費の高騰が心配されています。そこで厚生労働省による医療制度改革の一環として「特定健診・特定保健指導」が来年4月から始まります。同制度は病気の予防に重点を置き、将来皆さんが支払う保険料ができるだけ高くないよう、医療費を抑制するためのものです。

### 生活習慣病の原因

生活習慣病を引き起こす大きな要因は、運動不足や

偏った食生活などから生じる内臓脂肪型肥満であるといわれています。内臓脂肪型肥満が進行し、さらに高血糖や脂質異常、高血圧のうち2つ以上に該当する方を「メタボリックシンドローム」といいます。メタボリックシンドロームは動脈硬化の危険因子を合わせ持った状態のことで、高血糖や脂質異常など一つ一つの症状は軽くても、複数が寄り集まることで動脈硬化に陥りやすくなり、その結果心疾患や脳卒中など命にかかわる病気を発症する危険性が非常に高くなります。

特定健診では、生活習慣病の要因であるメタボリックシンド

ロームに着目。生活習慣の改善が必要な方を、健診により選定します。国保の方は町の健診で、社保などの方は各保険者が指定する機関で年に1度健診を受けることとなります。

また、特定保健指導では、特定健診により生活習慣の改善が必要と診断された方に対して、その方に合わせた生活習慣の改善計画を立て、行動に移すことができるように支援します。

### 健診受け自分の体知ろう

生活習慣病には自覚症状がほとんどなく、自分では気付かないうちに進行してしまします。見つかりにくい生活習慣病を早めに発見するためには、健診を受けてその結果から判断するしかありません。健診を受けることは自分の体を知る絶好の機会。いつまでも健康を維持するため、年に1度の機会を有効に活用しましょう。

### ◆問い合わせ 役場民生生活課

医療給付担当（☎82-3111内線124）へどうぞ。



# 沿岸で相撲の選手育てたい

国体で岩手県選手団旗手を務めた  
小田島哲男さん（船越・42歳）

「県体育協会から話があったときには、とても驚きました」と話す小田島哲男さん。9月29日から行われた秋田わか杉国体の開会式で、相撲競技に出場する小田島さんが、県選手団旗手を務めました。

「旗手は天皇・皇后両陛下の前を通るときに旗を前方に出しますが、出し方を間違えないようにすることです。頭がいつぱいでした」と開会式の様子を語ります。旧浄法寺町出身の小田島さんは、周囲の環境や父親の影響もあって、子供のころから相撲一筋。高校生のころから国体に出場し、出場回数はいままで19年連続、21回を数えました。しかし、小田島さんが出場した成年チームB（教員2人、25歳以下青年1人）は今回を最後に廃止され、最強チームのみの出場となること。「若い人たちにかなわないから、選手としての出場は今回が最後かな」と話しています。

「山田だけでなく、沿岸地区全体で相撲をもっと盛んにし、大きい大会で入賞できる力をつけた子供たちを育てていきたいですね」と相撲の普及振興に情熱を燃やしていました。



全国大会への出場を決めた山田中男子の皆さん



東北大会初出場の山田中女子の皆さん

## 県中学校駅伝大会で山田中が活躍 男子優勝、女子も準Vに

10月12日に行われた県中学校駅伝大会で、山田中男子が優勝、女子が2位に入賞する活躍を見せました。

大会は花巻市で行われ、男子の部には40チームが出場しました。山田中は2区でトップに立つと、首位をキープしたままアンカーの斉藤翔太君（3年）へ。斉藤君は区間賞の走りでも2位以下を大きく引き離してゴールテープを切り、9年ぶり2度目の優勝を飾りました。また、女子の部には41チームが出場。山田中は4区佐々木麗華さん（2年）の区間賞をはじめとした好走が光り、見事2位でゴールしました。結果、男子は全国大会と東北大会、女子は初出場となる東北大会への切符を手に入れました。

男子キャプテンの沼崎瑞希君（3年）は「優勝を目指して参加しましたが、勝つことができうれしいです。全国大会では、順位を気にせずいい走りをするに集中したい」、女子キャプテンの川村絵理さん（2年）は「2位に入賞できてすごくうれしかったです。1・2年生のチームなので、来年は優勝を目指します。東北大会では、入賞を目指してベストの走りをしたい」と抱負を述べていました。

東北大会は11月3日に秋田県秋田市で、全国大会は12月15日に山口県山口市で開催される予定となっており、生徒たちの活躍に大きな期待が寄せられています。

# むやみにハチを殺さないで

今年もスズメバチによる被害がでました。町内では9月に田の浜の山林で2人がオオスズメバチに刺され、救急車が出動しました。スズメバチが人を襲うのは巣を守るためです。アカバチで巣から3倍以内、オオスズメバチは巣から5倍以内に人が近づいたら襲います。特にオオスズメバチは草の茂った地中に巣を作るので、見つけにくいことが被害を大きくしています。世界最大のオオスズメバチは体長6センチ、肉食性です。スズメバチによる事故は気温の高い8、9、10月がピークです。霜が降りる11月下旬には働きバチは死に、女王バチは越冬のため朽木のへこみなどに潜り込んで、使い捨ての巣は空になります。一方、野生のミツバチの巣は3、4年は使われます。巣は働きバチが分泌するろうと唾液で作られます。花の蜜を集め、花粉で子育てしますから巣に近づいて眺めていても刺されることはありません。巣を壊したり、いきなりハチの体に触れば別です。ミツバチは自分の生命と引き換えに刺します。命と引き換えですから、めったなことでは刺しません。「ハチには針がある。刺さない保証はないだろう。だから退治しておくに限る」といった調子で、ハチを見掛けると安易に殺してはいませんか。スズメバチもミツバチも巣から離れた所にいるハチはすべて働きバチです。狩りをしたり花粉を集めたり、それぞれ仕事なのです。人が近づいたからといって襲いかかることはありません。あなたにまとつくように飛んだり、胸や肩に止まったりしても刺すことはありません。(あなたが)餌になる青虫や蜜を出す花のめしべではないことが分かると飛び去ります。ハチの取り調べが終わるまでジッと我慢、我慢。搭乗前のボディチェック気分ですね。

ところで、通学路に立つコンクリート電柱のボルト穴から出入りしている黒っぽい小さなハチを見掛けることがありますね。あれは野生のニホンミツバチです。ときに黒くべったりと電柱に群がっていることもあります。近寄ってみると、盛んに花粉を運んでいます。かわいい働き者です。山の巨木が切れ、すみかを追われたミツバチにとって、空洞のあるコンクリート電柱は大きな救いでした。野生のミツバチは、家庭の花壇や船越公園の水仙園ではなく、山の木々の間を飛び回って木の実が実るよう受粉を手伝って蜜や花粉を集めて生きています。野性のミツバチが減ったら山の実りは悪くなります。小鳥や獣は食べ物を得られず、熊は冬眠できません。野生動物がすめなくなれば、森はただのジャングルです。シカやカモシカの異常発生を見るかも知れませんが、森は荒れる一方です。電柱のミツバチをむやみに殺すことを止めて、少し離れて眺めてみてください。そういう行動を起こすことで、ミツバチが殖え始め、森の実に回復の兆しが見え始め、徐々に、しかし確実に山の木々は勢いを取り戻します。山田町全体が見違えるように元気になることを祈ります。

池田 壽和 (織笠・71歳)

## イラスト



にも真っ赤なサルビア、ブルーサルビア、マリーゴールドなど整列よく、夏の猛暑にも台風にも負けず美しく咲く花の一本一本をいとおしく思いました。

夏の水やりや除草、追肥など手入れに協力してください。地域の方々のご苦労を思い、すべてに高得点をあげたいと思いましたが、賞は別として花壇作りではなく、まられる地域の触れ合いや親子の触れ合いなど、大切なことを学びました。汗を流しご協力くださいました方々大変ご苦労さまでした。

佐藤豊子 (境田町・?歳)

ひと朝を命いっばい咲きほころ名残り身にしむあさがおの花

菊地サカエ (織笠・72歳)

鳥帽子岳

重いリュックを背負いして

大町テイヤ (大沢・?歳)

ハイハイヤ

つかまりだちのはじまりし

あこの機嫌の声もちどり

菊地孝進 (船越・85歳)

夏惜しみ皆既月食仰ぎみゆ

初秋の夜は神秘的なり

大川ヒメ子 (大沢・62歳)

秋祭り守り給えよおらが町

佐藤兼男 (荒川・?歳)

**投稿には必ず住所、氏名を**

「みんなのスペース」コーナーへの多数の投稿ありがとうございます。町では、投書やイラスト、川柳などスペースの許す限り掲載していますが、中には住所と氏名がなく、掲載できないものがあります。差出人不明の投稿は掲載をお断りしていますので、ペンネーム、匿名での掲載を希望する場合でも、必ず住所と氏名は記入してください。

◆問い合わせ 役場総務課情報管理担当 (☎82-3111 内線421) へどうぞ。

# みんなのスペース



かとう ゆうき ちゃん (大浦保育園・5歳)

## わたしのゆめ

大きくなったら2つのような床屋さんになって、みんなの髪をきれいに切ってあげたいな。

## 投書

どんなでも結構です。どしどしお寄せください。

### みんなで交通事故防止を

10月27日～11月5日まで全国一斉に「夜間・薄暮時の交通事故防止県民運動」が行われています。この運動に先立ち10月19日、川井村で宮古地域交通安全大会が開かれ、本町からも多数の方々が参加しました。長年の交通安全活動の功績に対し、表彰を受けられた本町3人の方々に心からお祝い申し上げます。さて、本運動の一環として山田町交通安全母の会と宮古地区交通安全協会山田支会などでは10月25日に船越地区、10月27日には織笠地区で高齢者宅を訪問し、夜光反射材などを配りました。夕暮れが早くなってきたので、歩行者は外出時に反射材を着用し、運転者は夕暮れ時のライト早め点灯を励行して、歩行者も運転者も自分の位置と存在を示し合って、交通事故防止に努めましょう。

高齢者や子供など交通弱者を守ることはもちろんのこと、小学生から高校生、大人までみんなが道路を横断するときには止まってしっかりと確認し、「自分の



安全は自分で」を合言葉に交通事故防止を誓い合い、県民運動を無事終えたものです。

西館隆 (船越・?歳)

### 歴史ある古里を世界的に

私は昔から小説が好きで、若い時は三島由紀夫、太宰治、司馬遼太郎をよく読んだ。

時は明治2年3月25日、箱館(函館)に立てこもる榎本武揚らの軍艦「回天」と新政府の軍艦「甲鉄」など8隻が宮古湾で激突した。回天には土方歳三、新政府軍の「春日」には後の元帥・東郷平八郎が乗り込んでいた。土方歳三らが乗った旧幕府軍は宮古港に停泊していた新政府軍に単騎で突撃した。甲鉄の土手つ腹に乗り上げた回天から乗り移り、白兵戦では善戦したが、新政府軍の新兵器ガットリング砲の前に劣勢を余儀なくされ、退却のやむなきに至った。

この時の戦死者は幕府軍17名、新政府軍11名で、日本近代海戦

史上初の戦いといわれている。これを記念して、東郷の筆による「宮古港戦績碑」が建てられました。また海戦の記念碑は、浄土ヶ浜お台場入り口にも建てられた。いやあ驚きです。東郷平八郎はこの海戦の際は三等士官として乗り込んでいた。ここから見物していたわれわれ同郷の先人たちもいたことでしょうか。碑の下方に砲弾をイメージした丸い石が飾ってあるが、書は鈴木善幸さんです。昭和43年に明治百年を記念して建立とある。こんな歴史ある古里を世界的に重要な場所に育てようと皆で考えましょう。海藻からエタノールを作るという研究がされ、カキ、ホタテの廃棄物は粉状にしてプラズマ焼成するとエイズなどの治療に使えるという。人類に役立つなら政府も援助します。頑張りますよ。

ふる里山田同郷の会 湊武美

### 花壇作りの協力者に感謝

過日、町内花いっぱい運動コンクールに参加致しました。荒川小学校より轟木小学校までの各団体19カ所の花壇を審査しました。審査はデザイン、生育状況、工夫、努力、地域の連携の5項目で採点します。どの花壇

◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。

◆あて先 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報管理担当へ。



今月の題字  
けん と  
**鈴木健斗君**  
(大沢小4年)

# 田町のわだい

## 商工会珠算検定

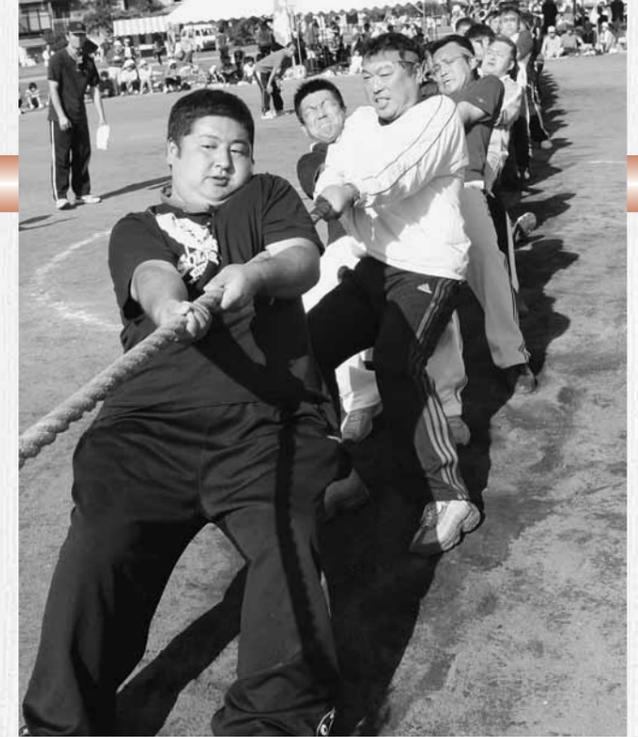
### 鳥居君(南小3年)が2級を取得

山田南小3年の鳥居海浄君が、商工会珠算検定の2級を取得しました。試験は9月16日に行われ、県内では46人が受験。合格者12人という難関を乗り越え、見事合格しました。元珠算塾経営の祖父次男さんから教えを受け、5歳からそろばんを習い始めた鳥居君。「計算が好きなので、そろばんは楽しいです。学校の授業も算数が一番好き」と明るく答えます。今月18日には1級の試験に挑戦する予定で、合格に向け毎日の練習に力が入ります。



## 障害者団体で交流会を開催 歌やゲームで親睦を深める

10月20日、船越家族旅行村で障害者団体お楽しみ交流会が行われました。これは、障害者団体同士の交流を図るため実施されたもので、山田町手をつなぐ親の会や身体障害者協議会、のんびり会の会員など77人が参加。ボランティアの人たちによるアコーディオンの演奏や玉入れゲームなどが催され、参加者は歌やゲームを通じて親睦を深めていました。その後、手をつなぐ親の会の皆さんから豚汁やサンマなどが振る舞われ、秋の味覚に舌鼓を打っていました。



## 町民体育祭に1,200人 豊間根地区3年連続の優勝

10月2日、町民体育祭が町民グラウンドを会場に開かれました。36回目となる今年は11地区1,200人が参加。清々しい秋晴れの下、参加者は優勝目指して各種競技や応援に熱戦を繰り広げました。結果、「団結がんばろう」(綱引き)など後半戦の種目で高得点を重ねた豊間根地区が3年連続で優勝。準優勝は轟木地区、3位は荒川地区でした。また、地区対抗の応援合戦では、児童と保護者による息の合ったダンスと見事なチアリーディングを披露した轟木地区が、2年連続で応援賞を受賞しました。



## そば打ち体験と試食会 満足な出来に笑みがこぼれる

10月4日、山田町認定農業者連絡協議会(藤原長一会長)が主催するそば打ち体験と試食会が開かれました。町中央コミュニティセンターを会場に行われ、町民30人が参加。成谷自然食の会の岩脇ヨシ子会長(久慈市)の指導で、そば打ちに挑戦しました。参加者は豆腐と卵を混ぜたそば粉を交代でこね、のし棒で薄く延ばした後、そば切り包丁で細長く切る作業を行いました。最後に自分たちが打ったそばを試食。満足な出来栄に、皆さんからは笑みがこぼれていました。



## 大浦小で創立130周年記念式典 伝統胸にさらなる発展誓う

10月21日、大浦小学校(館澤卓宏校長・児童52人)の創立130周年記念式典が同校体育館で開かれ、児童や地区民など150人が出席しました。式典では記念事業実行委員会の阿部金一会長の式辞に続き、館澤校長が「輝かしい歴史と伝統は学校と家庭、地域との連携のたまものです」とあいさつ。同実行委員会から同校に給食設備や放送設備などが贈られたほか、同校の歴代校長、PTA会長、学校協力者に感謝状が贈呈されました。アトラクションとして児童による合唱やさんさ踊りなどが披露された後、全員で校歌を斉唱、同校のさらなる発展を誓いました。

## 上豊間根自治会 交流会館の落成祝賀会 新たな活動拠点の完成祝う

上豊間根自治会(木村和夫会長・124世帯)のコミュニティ活動の拠点となる上豊間根自治交流会館が完成し、10月21日、地区民や関係者など70人が参加して落成祝賀会が開かれました。会館は、住民協働の取り組みとして同自治会が町の助成を受けて建設したもので、構造は木造平屋建て、延べ床面積は187.15平方メートル。地元の木材がふんだんに使われ、ぬくもりのある優しい造りとなっています。祝賀会では、木村会長が「子供会や老人クラブなど地区民の交流の拠点として大切にしていきたい」とあいさつ。沼崎喜一町長は「町の歴史に残る住民協働事業で建てられた初の施設を活用し、さらに地区が振興していくことを願います」と祝辞を述べました。祝宴では地区民による歌や踊りが披露されるなど、参加者みんなで会館の完成を祝っていました。



このコーナーでは、町にゆかりのある歴史人物とその結び付きなどをシリーズで紹介しています。執筆者は山田史談会長の佐藤仁志さん（豊間根・72）です。

明治23年11月、東北線上野―盛岡間が開業、早速宮古町の政財界が動いた。地方の開発と文化の向上を図るため、盛岡―宮古間の鉄道敷設運動を始めた。県議篠民三はじめ菊地理七、菊地長七、小成周蔵らである。明治25年松方内閣のとき、盛岡出身の代議士伊東圭介の働きにより、

## 山田線の開通に

## 尽力した人々

「鉄道敷設法」が可決、「盛岡ヨリ宮古若八山田ニ至ル鉄道」が木巖の協力、鉄道次官石丸重美の助力を得て測量を終えた。本県代議士大矢馬太郎、鈴木

兵衛、釜石町長服部保受らが上京、盛山線（盛岡―山田間）および三陸沿岸線の請願を行った。大正9年7月9日、盛岡市長北田親氏、県議会議長大矢馬太郎、盛岡銀行常務金田一国土ら8人が首相原敬、政府首脳、貴衆両院に山田線（別称盛宮線）速成を陳情、7月28日盛岡―山田間鉄道敷設法案が貴族院を通過し、予算が計上された。当初盛宮線として宮古まで敷設する案であったが、山田港が海軍予備港であることから山田まで延長、その後釜石まで延長された。



昭和10年開通当時の陸中山田駅

大正8年、盛岡市長北田親氏を先頭に宮古町、楸ヶ崎町、千徳村など関係市町村長が大蔵大臣高橋是清、内務大臣・鉄道院総裁床次竹二郎、農商務大臣山本達雄らに「盛岡―宮古間鉄道速成」の請願を行った。

一方、宮古町長関口松太郎、山田町長大久保喜重治、町議佐藤善太夫、大槌町吉井金助、荒井儀米内間が開通したが、財政難のため幾度か繰り延べされた。代議士熊谷巖、宮古町長中島源三郎、盛岡市長北田親氏、代議士高橋壽太郎らが奔走努力、昭和9年宮古まで開通し、10年11月17日豊間根駅、陸中山田駅開通、11年11月10日織笠駅、岩手船越駅開通、14年9月盛岡―釜石間が全通となった。

山田線の開通により大量輸送、高速時代を迎え、産業経済、文化を飛躍的に発展させた。

## 県民・能率手帳を販売 便利な一冊をお手元に



2008年版の県民手帳と能率手帳を販売します。ご希望の方は、役場総務課または役場各支所でお求め下さい。両手帳には、岩手県の概要や東京都内の地下鉄路線図、郵便料金表などが掲載されているほか、別冊アドレス帳も付いています。仕事に生活に役立つ一冊をお手元にいかがですか。

### ▽定価

- ・ 県民手帳（ポルドー色14・0  
センチ×8・5センチ）：600円
- ・ 能率手帳（黒色14・4センチ×  
9・5センチ）：700円

※定価は消費税込みです。

▽問い合わせ 役場総務課情報

管理担当（☎82-31111内  
線416）へどうぞ。



三陸  
やまだ

織笠川

鮮魚祭り

第1回 11月25日(日)

第2回 12月2日(日)

時間 午前9時半～午後2時  
(受け付けは午前9時～)

場所 織笠川特設会場

◆内容 ▶サケのつかみ捕り(1日4回実施。4回目は午後零時半～)▶サクラマスフィッシング▶水産物直売(生サケ、新巻きサケ、イクラ、殻付きカキなど)▶食堂(鮭汁、ハラッコ丼、ハラッコうどんほか)

◆参加料 ▶サケのつかみ捕り…中学生以上1,200円、小学生1,000円(いずれも1人1匹)▶サクラマスフィッシング…500円(1人5匹まで。超過分は1匹につき100円追加。釣りざおの持ちこみは自由です。ただし、ガラ掛け釣りは禁止します)

◆問い合わせ 役場産業振興課商工観光担当(☎82-3111内線234)へどうぞ。

町に温かい善意届く



山田中学校吹奏楽部

車いす2台を寄贈する

山田中学校吹奏楽部が、チャリティーコンサートの寄付金で購入した車いす2台を町に寄贈しました。贈呈式は10月16日に役場町長室で行われ、部長の清水あずささん(3年)、副部長の澤村菜摘さん(3年)、福士葉粒生さん(2年)らが出席。清水さんは「チャリティーコンサートに79,404円の寄付がありました。町のために役立ててください」とあいさつし、沼崎喜一町長に目録を手渡しました。これに対し沼崎町長は「福祉の心を伝える素晴らしいこの伝統を、どうぞ後輩の皆さんにも伝えていってください」とお礼を述べました。チャリティーコンサートは平成9年からほぼ毎年行われ、今回までに車いす6台、エアマット9台、現金約9万円などが町に贈られています。

—佐々さんから10万円の寄付—

佐々ツヤさん(飯岡・74)から、町に10万円が寄付されました。佐々さんは10月16日に役場を訪れ、「わたしは福祉などで町に大変お世話になりましたので、町のために役立ててください」と寄付金を沼崎町長に手渡しました。沼崎町長は「ありがとうございます。福祉向上のため、大切にさせていただきます」とお礼を述べました。

町長室から

岩手県中学校駅伝大会で、山田中学校チームが男子優勝、女子準優勝の素晴らしい成績を残したことは本号でも紹介されていますが、私はこの快挙を10月14日に開催された町民駅伝大会の開会式で報告しました。初めて聞く参加者も多かったと見えて、期せずして歓声が上がりました。これに触発されて、当日参加した小学生選手の中からも中学校の駅伝選手を目指す子供たちが育つかもしれません▼集会施設の老朽化が進み新築移転が懸案となっていた上豊間根地区に、名称も上豊間根自治交流会館と改めた新施設が完成しました。町が行政と地域住民との新しい協働の事業として計画したもので、材木の切り出し製材から地区住民が手掛け、地元の大工さんの協力なども得て格安の工事費で進められていたものです。落成祝賀会でいただいた、心尽くしの松茸のお吸い物のとおりおしいこと。

山田町長 沼崎 喜一

# おしらせ



まちで出会ったかわいい笑顔

## 広報クイズ

245

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- 10月21日に「とどろき祭り」で轟木小学校と白石老人クラブが合同で演じた劇は？  
 ①とどろきの90年史  
 ②とどろきの99年史  
 ③とどろきの100年史
- 10月1日に開始された気象庁の情報システムは緊急〇〇速報？  
 ①火災 ②津波 ③地震
- 10月2日に開かれた町民体育祭で優勝した地区は？  
 ①豊間根 ②轟木 ③荒川
- 今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん7人のうち、男の子は何人？  
 ①4人 ②5人 ③6人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

【応募先】 〒028-1392 (住所記載不要) 山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 11月20日 (当日消印有効)

☆前回の正解は①-B、②-C、③-C、④-Aでした。応募者数は21人で全員正解。抽選の結果次の10人が当せました。山田=奥村亮人(10)、湊亜紀子(12) 船越=大久保結衣(12)、黒沼吉雄(?)、富山百恵(?)、佐々木冴子(11) 大浦=山崎竜輔(8) 大沢=大町テイ子(?) 豊間根=佐々木寿理(7) 神奈川県川崎市=外木久(26)

〈敬称略〉

### 各種相談あります お気軽にご利用を

◎女性の人権ホットライン  
 ▷期間 11月12日～18日  
 ▷時間 平日…午前8時半～午後7時 土・日曜日…午前10時～午後5時  
 ▷相談内容 暴力、セクハラ、ストーカー行為など女性をめぐる各種人権相談  
 ▷相談員 人権擁護委員など  
 ▷電話番号 0570-070-810  
 ▷問い合わせ 岩手県人権擁護委員連合会(盛岡地方法務局内)☎019-624-9859)へ。

◎高齢者・障害者なんでも110番  
 ▷日時 11月14日(水) 午後1時～5時

▷面接相談場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)  
 ▷電話相談番号 019-652-9820  
 ▷相談内容 高齢者や障害者の法律・医療・介護・福祉サービスなどに関する相談  
 ▷相談員 精神科医、弁護士など  
 ▷問い合わせ 岩手弁護士会高齢者障害者支援センター(渡辺・山崎法律事務所)☎019-604-6321)へどうぞ。

◎行政相談  
 ▷日時 11月22日(木) 午前10時～正午

▷場所 町中央コミュニティセンター  
 ▷相談内容 国や県、市町村の仕事で納得できないことなど行政全般の相談  
 ▷相談員 行政相談委員  
 ▷問い合わせ 役場住民生活課 住民相談担当(内線128)へ。

◎療育巡回相談  
 ▷日時 12月4日(火) 午前10時～午後3時

▷場所 保健センター  
 ▷相談内容 言葉の遅れや知的発達遅れなど、お子さんの発達障害に関する相談  
 ▷相談員 県立療育センター職員  
 ▷申込期限 11月20日  
 ▷申込先・問い合わせ 役場保健福祉課健康づくり担当(内線166)へどうぞ。

### 秋の全国火災予防運動を展開します

「火は見てる あなたが離れるその時を」を統一スローガンに11月9日から15日まで秋の全国火災予防運動が展開されます。  
**火災予防パレードを実施**  
 ▷日時 11月11日(日) 午前10時55分日本生命前出発  
 ▷場所 国道45号(中央町)  
 ▷問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へどうぞ。

### 「119番通報」は 落ち着いて正確に

11月9日は「119番の日」です。119番通報をするときは、次の5つのポイントを踏まえ、落ち着いて正確に伝えましょう。  
 ①火災・救急・救助などの種別  
 ②発生場所(住所や目標物)  
 ③火災・事故などの状況、患者の状態や既往症など  
 ④通報者の氏名・電話番号  
 ⑤携帯電話からの通報は宮古消防署につながります。通報後は消防署から再度照会する場合がありますので、電源を切らずにその場を離れない。  
 ▷問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へどうぞ。

### 山ぶどうを使った料理を出品しよう

宮古農業改良普及センターでは、宮古地方「山ぶどう」果実活用コンクールを開催します。あなたも山ぶどうの果実を使ったアイデア料理を出品してみませんか。なお、原料の山ぶどうが必要な方には、先着40人に1㍻ずつ提供します。  
 ▷開催日時 12月4日(火) 午後1時～3時  
 ▷開催場所 シートピアなど  
 ※開催内容の詳細については、後日申込者に案内します。  
 ▷申込期限 11月27日  
 ▷申込先・問い合わせ 宮古農業改良普及センター(☎64-2220)へどうぞ。

### 山田ジュニア陸上教室に参加しよう

本年度後期の山田ジュニア陸上教室が開講されます。参加希望の方は、直接会場へお越しください。  
 ▷開催日 11月10日、17日、24日(いずれも土曜日)  
 ※12月以降の日程は後日お知らせします。  
 ▷時間 午前9時半～11時  
 ▷場所 山田南小学校体育館  
 ▷対象 町内の小学生  
 ▷持参する物 タオル、飲み物、室内用シューズ  
 ※本年度初めて参加する人は、保険料500円が必要です。  
 ▷問い合わせ 山田ジュニア陸上教室事務局(高橋)☎090-7334-1899)へどうぞ。

### 秋のわくわく祭花まりんで開催

▷日時 11月11日(日) 午前9時～午後2時  
 ▷場所 花まりん(船越公園内)  
 ▷内容 花苗、苗木、野菜、園芸品などの販売、フリーマーケットなど  
 ※フリーマーケットの出店希望者は、11月10日までに申し込みください。  
 ・区画 1区画3㍻×2㍻  
 ・出店料 500円  
 ▷申込先・問い合わせ 花まりん(松崎)☎090-1398-5551)へどうぞ。

### 11月4日にチャリティーバザー開催

ミャンマー難民の子供たちへ文具を贈るためのチャリティーバザーが開催されます。  
 ▷日時 11月4日(日) 午前9時～11時  
 ▷場所 町中央公民館前  
 ▷出品物 食器、雑貨、衣類など  
 ▷問い合わせ ガールスカウト岩手県第28団(菅原)☎82-2451)へどうぞ。

### 国土調査成果の登記事務が完了

平成17年度に着手した船越第16地割の国土調査の成果について、このたび登記事務が完了しました。地籍図など測量成果が必要な方は、お問い合わせください。  
 ▷問い合わせ 役場企画財政課 国土調査担当(内線436)へ。

### 山田町長杯キッズサッカー大会開催

▷日時 11月25日(日) 午前9時～  
 ▷場所 町総合運動公園サッカー場  
 ▷チーム編成  
 ・U-8…小学2年生以下の子供5人以上で編成  
 ・U-10…小学4年生以下の子供5人以上で編成  
 ※4人以下でも参加できますので、ご相談ください。  
 ▷参加料 一人100円  
 ▷申込期限 11月9日  
 ▷申込先・問い合わせ 山田サッカー協会事務局(町水道事業所内・道又)☎82-3111内線223)へどうぞ。

### 全血献血あります皆さんのご協力を

▷期日 11月8日(木)  
 ▷時間と場所 午前9時～10時…役場前 午前11時～正午…道の駅やまだ 午後1時半～4時半…山田高校  
 ▷問い合わせ 役場保健福祉課 健康管理担当(内線161)へ。

### 岩手県最低賃金10月28日に改定

岩手県最低賃金が10月28日に改定されました。  
 ▷岩手県最低賃金 時間額619円  
 ▷発効日 10月28日  
 ▷問い合わせ 岩手労働局(☎019-604-3008)へどうぞ。

### 町の期限付臨時職員を一般公募

町では、期限付臨時職員を募集します。選考方法は書類審査(履歴書)と面接です。  
 ▷職種 一般事務補助  
 ▷勤務場所と募集人数  
 ・住民生活課…1人  
 ・税務会計課…1人  
 ▷応募資格 町内に住所があり、パソコン操作のできる人  
 ▷賃金 日額5,400円  
 ▷任用期間 12月1日～来年3月31日  
 ※住民生活課については、必要に応じて最大12カ月まで期間が更新されます。  
 ▷申し込み方法 役場住民生活課または各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、総務課へ提出してください。  
 ▷申込期限 11月14日  
 ▷問い合わせ 役場住民生活課 住民記録担当(内線123)、税務会計課町民税担当(内線111)へどうぞ。

### 県立宮古高等技術専門校で学生募集

▷設置科と募集定員  
 ・自動車システム科…15人  
 ・金型技術科…10人  
 ▷受験資格 高等学校を卒業した人(平成20年3月卒業見込みを含む)またはこれと同等以上の学力があると認められた人  
 ▷出願期間 11月19日～30日  
 ▷試験日 12月7日(金)  
 ▷願書の請求先・問い合わせ 県立宮古高等技術専門校(〒027-0037 宮古市松山8-29-3 ☎62-5606)へ。

### 11月の町長面談日

▷日時 11月8日(木) 午前10時～正午  
 ▷場所 役場4階特別応接室  
 ※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

### 普通救命講習会を山田消防署で開催

山田消防署では、救急車が到着するまでの応急手当法を学ぶ普通救命講習会を開催します。  
 ▷日時 第1回…11月25日(日) 午前9時～正午  
 第2回…11月26日(月) 午後6時半～9時半  
 ▷場所 山田消防署  
 ▷内容 心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の取り扱い、止血法など  
 ※実技がありますので、動きやすい服装でお越しください。  
 ▷対象 町内在住者または町内に勤務する人  
 ▷定員 各回とも30人  
 ▷受講料 無料  
 ▷申込期限 11月18日  
 ▷申込先・問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へどうぞ。

### 心の健康講演会 お気軽に参加を

本人は苦しんでいるのに周囲の人にはなかなか理解されない「うつ病」について学ぶ「心の健康講演会」が開催されます。  
 ▷日時 11月16日(金) 午後1時半～3時半  
 ※受け付けは午後1時からです。  
 ▷場所 町中央公民館小ホール  
 ▷演題 「うつ病の理解と予防～早期発見のポイントと上手な接し方～」  
 ▷講師 智田文徳さん(社会福祉法人盛岡いのちの電話理事)  
 ▷申込期限 11月14日  
 ※講師にお聞きしたいことがある場合は、申し込みの際にお知らせください。  
 ▷申込先・問い合わせ 役場保健福祉課健康づくり担当(内線165)へどうぞ。

## 宮古税務署からのご案内

◆問い合わせ 宮古税務署(☎62-4611)へ。

### 電話相談センターの利用を

宮古税務署では、11月1日から国税に関する相談を「電話相談センター」でお答えしています。どうぞご利用ください。面接相談を希望する方は、あらかじめ税務署に面接相談の日時を予約し、関係書類を持参の上、ご相談ください。また、国税について不明な点があれば、いつでも手軽に情報を入手できる国税庁ホームページ(http://www.ntago.jp/)もご活用ください。

—— 電話相談センター(☎62-1921) ——

### 年末調整説明会を開催

宮古税務署では、年末調整説明会を開催します。平成19年分の年末調整の仕方や法定調書・給与支払報告書の提出方法などについて説明しますので、税務署から送付された年末調整関係書類をご持参の上、お越しください。  
 ◆日時 11月21日(水) 午後2時～4時  
 ◆場所 宮古市民文化会館大ホール

### 11月11日～17日 税を考える週間

11月11日から17日までは「税を考える週間」です。今年のテーマは「少子・高齢社会を支える税」。この機会に税金の仕組みや使い道について考えてみませんか。

# おめでた・おくやみ

9月届け出分(敬称略)

〔出生〕( )は保護者と性別

- ▷山田 鳥井朝陽(勝一・男)
- ▷田の浜 山崎諒太(雅広・男)
- ▷大浦 秋田捷太(克由・男)
- ▷織笠 佐々木茉莉花(繁・女)、山崎天音(武彦・女)

〔結婚した二人〕( )は住所

- 清川大(豊間根)・福館美保子(船越)
- 佐々木慎吾(大沢)・千葉幸枝(織笠)
- 阿部洸太(後楽町)・佐藤彩(釜石市)
- 金山幸二(川向町)・高野志穂(川向町)
- 平池泰周(飯岡)・中村恵里佳(静岡県浜松市)
- 渡辺和幸(大沢)・坂本ますみ(織笠)

〔死亡〕( )は年齢

- ▷山田 湊孝勇(66)、佐藤隆(76)、伊藤正(71)、佐藤長利(53)、木村幸吉(80)、佐々木元次郎(94)
- ▷船越 菊地ヨウ子(77)、山崎英市(83)、田畑昭吉(76)
- ▷田の浜 菊地和一郎(68)
- ▷大浦 阿部秀信(90)
- ▷織笠 福士喜悦(64)
- ▷大沢 鈴木良子(51)、小野寺トセ(79)、鈴木四郎(92)、石川カヨ(79)
- ▷豊間根 豊間根昇(80)、小山廣志(59)

## 町民のうごき

(9月1日~30日)

- ▷出生……6人      ▷転入……16人
- ▷死亡……15人     ▷転出……23人

- ▷人口…20,145人(今月減16人)
- 男…9,672人 女…10,473人
- ▷世帯数……………7,242世帯

◆先日、締め切り前だということにかつにも風邪をひいてしまいました。高熱が出て一時はどうなるかと思いましたが、どうにか発行までこぎ着けることができました。皆さんも体調には十分ご注意ください。

◆上豊間根自治交流会館の落成祝賀会を取材。地元の木材をふんだんに使った優しい造りがとても印象的でしたが、地元の松茸をふんだんに使ったお吸いばさらは格別。旬の味覚の印象だけが強く残っています。



坂本大地  
(織笠・泰幸・男)



山崎玲聖  
(織笠・学・男)



糠森光  
(織笠・寿・男)



昆一花  
(長崎・恵一・女)

11月生まれ

赤ちゃん紹介  
一歳になりました



中鉢弘夢  
(飯岡・良樹・男)



中居月詩  
(豊間根・哲哉・男)

※敬称略・( )内は地区名、保護者、性別です。



橋端仁惟奈  
(田の浜・大助・女)

## 町民劇場団員を募集

町民劇場実行委員会では、第2回町民劇場の団員を募集しています。演目は作り育てる漁業の原点を主題にした「夜明けの浜」。11月中旬から練習を開始し、来年2月に「鈴木善幸第70代内閣総理大臣を顕彰する事業」と合わせて上演する予定です。あなたも町民劇場に参加し、団員の皆さんと手づくりの舞台を楽しみませんか。



昭和61年6月に上演された第1回町民劇場「寛永の朝霧」

- ◆募集人員 スタッフ…30人  
キャスト…30人(うち小中学生10人)
- ◆申込先 町中央公民館(☎82-3111内線621)
- ◆問い合わせ 町民劇場実行委員会(馬場善也団長☎82-2084 川端信作副団長☎82-2556)へどうぞ。

## 光ファイバー通信の整備に着手

情報化社会に必要な高速インターネットを実現させる光ファイバー通信「Bフレッツ」サービスが、来年1月21日から町内電話の81局と82局の地域(一部NTTの設備状況により提供不可)で開始されることとなり、各所で工事が進められています。これに合わせて県内外のNTT販売代理店やNTT東日本では、対象地域の皆さんからの事前申し込みを受け付けています。申し込みにあたっては、それぞれの利用環境、使用実態に合ったものを選ぶとともに契約内容をよくお確かめの上、お申し込みください。

◆問い合わせ NTT東日本岩手支店(☎0120-491249)または役場総務課情報管理担当(☎82-3111内線414)へどうぞ。

